

開講科目名	日本語中上級 IIA			
成績入力担当	福明 正樹	開講区分		単位数
		第1クォーター		0.0単位
ナンバリングコード	R1IG072	曜日・時限等	火1(対面)	時間割コード

授業のテーマ

中上級レベルの日本語（4技能）を総合的に身につける。

授業の到達目標

1. 中級後半レベルの語彙・文法を適切に使うことができる。
2. 抽象的あるいは高度に文化的な話題について議論することができる。

授業の概要と計画

今学期の本科目の授業は対面で行う。

日本語中上級Ⅰ～Ⅲでは同じ教科書を使用し、週3回の授業で1課分の学習をする。一部のクラスのみ履修することも可能だが、学習効果を促進するため、できるだけ全クラスを履修することを推奨する。各クラスの主な活動は下記の通り。

Ⅰ. 読む・書く、Ⅱ. 文法、Ⅲ. 話す・聞く

このクラス（日本語中上級Ⅱ）では、「文法」を中心に行う。

授業のスケジュールは以下の通り。

1週目 4/14：オリエンテーション、13課

2週目 4/21：14課

3週目 4/28：15課

4週目 5/7：課題学習

5週目 5/12：16課

6週目 5/19：17課

7週目 5/26：18課

8週目 6/2：復習

全8回（15時間）

*日本語中上級ⅠA～ⅢA：週3コマ全8週（総時間数45時間）

成績評価方法

①最終課題40%、②各課課題30%、③授業活動及び授業参加度30%で評価する。

成績評価基準

①最終課題は、習った項目を適切に使えるかどうかで評価する。

②各課課題は、実施状況と例文の適切さで評価する。

③授業活動及び授業参加度は、授業への集中度と、授業時の活動への主体的な貢献により評価する。

※出席率70%以上を満たすことが、成績評価の前提条件となる。すなわち、この条件を満たさない場合、自動的にF（不可）とする。連続授業のため、毎週少なくとも2回は履修するのが望ましい。

履修上の注意（関連科目情報）

対象者：

本授業は中上級レベルの授業である。中級レベルの学修を終えている、あるいはGEC-Jtestで「中上級レベル」と判定された学習者を対象とする。

教科書及び文法書は各自で用意すること。

関連科目情報

1. 連続授業のため、「日本語中上級ⅠA、ⅢA」と併せて受講することが望ましい。「日本語中上級ⅠA、ⅢA」が受講できない場合は、スケジュールをもとに、不足分を自習により補っておくこと。

2. 「日本語中上級ⅠB～ⅢB」を続けて受講することが望ましい。

事前・事後学修

準備学習・復習：

1. 教科書及び文法解説書を各自で用意すること。
2. 文法解説書に事前に目を通し、文法の「産出項目」について自分で例文を作成してみることに。

本学では1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。

オフィスアワー・連絡先

質問はなるべくクラス内ですること。その他、このクラスについて相談が必要な場合は、主任の波多野に連絡すること。

グローバル教育センター3階 波多野研究室

電話番号：078-803-5275

メールアドレス：hatano.hiroaki@harbor.kobe-u.ac.jp

学生へのメッセージ

この授業を通して、文法項目を学ぶと同時に、みなさんの日本語の文法に対する意識を高めてほしいと思っています。新しい日本語の表現に出会ったら、どうやって使うかふだんから考えるようにしてください。

今年度の工夫

神戸大学の学習管理システムBEEFを使って自習用の資料を提供します。

教科書

1) 『みんなの日本語中級Ⅱ 本冊』 (スリーエーネットワーク)

2) 『みんなの日本語中級Ⅱ 翻訳・文法解説』 (スリーエーネットワーク)

同書に関しては、英語版をはじめ7カ国語版があります。それぞれにあった言語での表記を選んでください。

『みんなの日本語 中級Ⅱ 本冊』 / スリーエーネットワーク : スリーエーネットワーク, 2012, ISBN:9784883195909

『みんなの日本語 中級Ⅱ 翻訳・文法解説書』 / スリーエーネットワーク : スリーエーネットワーク, 2012, ISBN:9784883196142

参考書・参考資料等

授業における使用言語

日本語

日本語

キーワード

日本語 中上級 文法 交換留学生 (特別聴講学生) 可